

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」.....

たまちゃん通信

平成 28 年 11 月発行 81-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号
TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311
e-mail：honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

「全国お手玉遊びの祭典」を多彩に開催(上)

北海道から沖縄県までの 29 支部から集う



「全国お手玉遊びの祭典」は、『こころと心を結ぶ新しいお手玉の世界』をスローガンに、全国お手玉遊びの祭典実行委員会と新居浜市教育員会の主催、日本のお手玉の会の共催で、平成 28 年 10 月 1 日(土)、2 日(日)の両日、新居浜市の総合文化施設あかがねミュージアムで開催されました。

祭典には、北海道から沖縄県まで 1 都 1 道 2 府 16 県の 27 支部から 150 人と、地元からの参加者を含めて 2 日間で延べ 2,000 人の参加となりました。

第 1 日目は、和太鼓演奏で威勢よく幕を開け、開会式では、石川勝行新居浜市長の「歓迎のことば」、中村時広愛媛県知事の「祝辞」(代読)がありました。また、あかがねミュージアムに人形「藤娘」を寄贈された人形作家の上妻悦子様(東京在住)に、石川市長から感謝状が贈られました。

開会式につづいて、ヘルスアートクリニックくまもと院長の中原和彦医学博士(日本のお手玉の会顧問)の講演『お手玉は子どもの脳を救う』があり、250 人が参加しました。中原博士は、お手玉でうつ病を治す心療内科医で、お手玉

が持つチカラを、多くの事例を紹介しながら話されました。(写真上)

講演の中で、ヨーヨーお手玉ダンスや、効果的なお手玉のやり方を、熊本おじゃめの会のみなさんの実演を交えて、紹介されました。

午後は、『子どもから高齢者までのお手玉』のテーマで、シンポジウムが行われました。パネリストに、中原博士と、日本のお手玉の会の宮中雲子会長と、中島るり子(長崎)、森勝代(和歌山)、原妙子(福岡)、鈴木幸子(八王子)の各支部の会長が登場し、コーディネータは鹿児島大学名誉教授の山本清洋教育博士(日本のお手玉の会副会長)が務めました。(写真上)



パネリストは、自己紹介を兼ねて、お手玉遊びに取り組んだきっかけと、お手玉の魅力を語りました。また、子どもから高齢者までを対象とした、具体的な活動を紹介しました。

最後に、山本コーディネーターの音頭で、パネリストが立ち上がり、観客席と一緒に楽しくお手玉遊びを披露し、会場には笑顔があふれ、温かい雰囲気に包まれました。

夜は、会場を市内に移して交流会が行われ、石川新居浜市長をはじめ 150 人が参加しました。参加者は、近況や活動状況を話し合い、また、各支部から次々にパフォーマンスが飛び出し、参加者全員が立ち上がり、会場全体が一つになる楽しい交流会となりました。